



公明党
三階 道雄

支えあい、安心と活力ある多摩へ！

子どもの幸せ最優先社会へ

問 多摩市の平和推進事業の拡充を期待するが市の取組みを伺う。

答 多摩市平和展・子ども被爆地派遣事業の拡充と、学校としても平和教育として今起きていることを自分事として考えるよう指導する必要がある。

問 子育て・教育支援について。公明党は昨年「子育て応援トータルプラン」を発表。少子化・人口減少の克服に向けた具体策として出産育児一時金の増額、児童手当の18歳までの対象拡大や子ども医療費助成の拡充などを示し実現しつつある。多摩市でもさらなる少子化対策をめざすべきだが見解を伺う。

答 国や都が示す少子化対策と歩調を合わせ前進させる。



高齢社会・健幸都市について

問 コロナの影響で地域のつながりの「希薄化」が進んでいる。見守りとしての民生委員も地域によっては欠員状態にある。地域に福祉の相談窓口や見守り体制が必要と考える。また住み続けられる福祉計画にすべきだが見解を伺う。

答 相談窓口は検討課題と認識している。福祉計画を策定するにあたり実態調査の結果を踏まえ、関係団体としっかり協議する。

問 带状疱疹ワクチンの助成について多摩市の見解を伺う。

答 実施に向けたより具体的な検討を進める。

問 多摩センター周辺の商業施設の空き店舗や、ホテルの撤退などの対策を伺う。

答 地権者とともに街の賑わい、価値向上の取組みを行う。



「大軍拡」にストップ！平和・暮らしを守る市政を

戦争への道を許さない！

問 岸田政権による「敵基地攻撃能力」保有は、専守防衛の鉄則を踏みにじるもの。見解を伺う。

答 首相も「大きな転換」と言っている。それほど重要な方針の変更を国会で十分議論したかと言えば疑問だ。

問 2023年度には10兆円、今後5年間で43兆円の軍事費を考える岸田政権。軍備拡大することが抑止力になるのか伺う。また大軍拡の予算が市民の暮らしに及ぼす影響について伺う。

答 武力で応酬することは抑止力と言えない。外交の力で最大限努力することが大事だ。多摩市の予算に及ぼす影響については国の動きをしっかりと見ていきたい。

問 統一協会と自民党の癒着は問題。きっぱりと関係を断つべき。見解を伺う。

答 自民党も社会的問題を引き起こした団体とは関係を持たないと公表している。きちんと判断されると考える。

ピアティーチャー・厚生荘病院の再開

問 「困っている子」に寄り添うのがピアティーチャー。市の予算で配置できるので、現場の声を聞いて対応すべき。見解を伺う。

答 ピアティーチャーによる支援を今後も継続することで、子どもたちが楽しく学べる環境を整えたい。

問 5月からの厚生荘病院での診療所開設は一步前進。入院や検査もできる病院の再開に向けて、経営者側への働きかけを伺う。

答 引き続き病院の再開に向け働きかける。経営者へは誠実に対応するよう求める。



日本共産党
安斉 きみ子